

しま い せ き 小松市 島遺跡 現地説明会資料

ホームページ
いしかわの遺跡
検索

平成 29 年 7 月 9 日（日）
（公財）石川県埋蔵文化財センター

- 【調 査 地】 小松市島町地内
- 【調査原因】 北陸新幹線建設
- 【委 託 者】 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備機構
- 【受 託 者】 石川県教育委員会
- 【調査担当】 公益財団法人 石川県埋蔵文化財センター
- 【調査期間】 平成 29 年 4 月 ～ 7 月（予定）
- 【調査面積】 1,920 m²

島遺跡は、JR 粟津駅から東南に約 1 km、月津台地の東縁付近に位置しています。これまでに道路改良工事（昭和 58 年）や下水道工事（平成 7 年）、個人住宅建設（平成 23・28 年）などを原因として、小松市教育委員会が調査を行っています。

その時の調査では、掘立柱建物や井戸、区画溝、^{ほったてばしらたても の} 竪穴状遺構などがみつかり、古墳時代末から中世の集落であったことがわかっています。また、^{くかくみぞ} 韃の羽口（鍛冶炉の送風管の先端部分）^{たてあなじょういこう} や鍛冶滓（鍛冶作業で生じる不純物の塊）、^{こふん} 炉壁の破片なども出土しており、金属加工を行っていたようです。

今回の調査は、北陸新幹線建設に先立ち、4 月から発掘調査を実施しています。

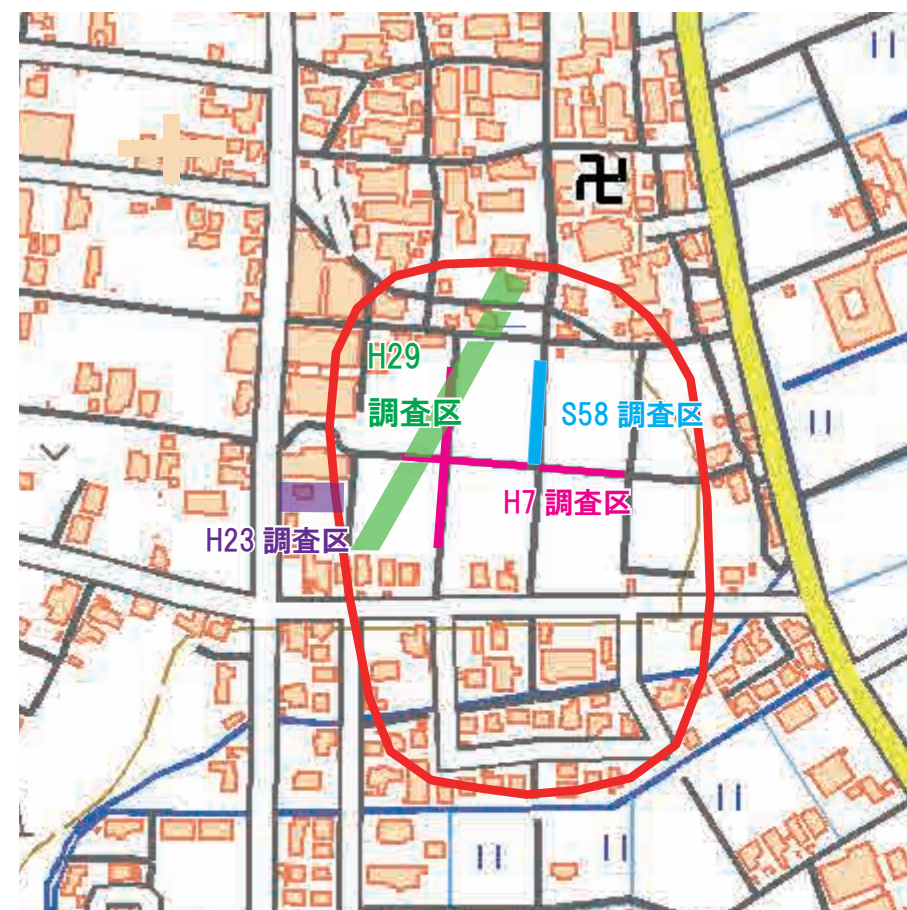
Ⅱ区では、古代の掘立柱建物 2 棟、中世の掘立柱建物 3 棟、中世の井戸 2 基、区画溝、Ⅲ区でも南北方向の古代の区画溝を確認しました。現在調査中のⅠ区では古代の初め頃の掘立柱建物 1 棟などがみつき、遺跡では長期にわたり集落が営まれたことがわかりました。



空から見た島遺跡



周辺の遺跡（S=1/25,000）



島遺跡 調査区配置

島遺跡 遺構概略図 (S=1/400)

